

桜尾小学校児童

山県バスターミナル初見学

7月15日、桜尾小学校4、6年生の児童7人が、山県バスターミナルに初めての見学者として訪れました。児童らは市職員と岐阜乗合自動車の社員から施設についての説明を聞いた後、バスターミナル施設やバス整備場を見学したり、車椅子でバスに乗車する体験をしたりしました。

児童らは初めて訪れたバスターミナルに興味津々の様子で、昨年11月以降に導入されたばかりのタブレットで熱心に撮影を行っていました。



自分を大切に

SOSの出し方授業



7月16日、伊自良中学校1、2年生を対象に、子どもたちの命を守る取り組みとして、SOSの出し方授業を行いました。

この取り組みは、夏休み前に、市内各中学校で行われており、自分がかげがえのない存在であることに気づき、ストレスへの対処法などを理解することを目的としています。

生徒たちは、ストレスを発散するにはどうしたらいいかをグループで話し合ったり、困ったときは信頼できる大人3人以上に相談することなどを学んだり、活発な意見交換を行いました。

夏だ！自然だ！

保育園年長児自然体験事業

7月21、28日の2日間、伊自良湖付近の小川で市内保育園の年長児が、自然体験保育を行いました。

この事業は、子どもたちが自然に興味を持ち、自然を大切な共存資源として守り、成長していくことを目的に毎年行っています。

園児たちは、最初に小川にすむ生き物の説明や捕まえ方などを聞いた後、元気いっぱい小川を駆け回りました。参加した園児は「たくさん生き物を捕まえたよ。水も気持ち良くてとっても楽しかった」と話しました。



どうぶつえんを作ったよ！

高畠純先生とワークショップ開催



8月1日、図書館で、山県市ゆかりの絵本作家高畠純先生によるワークショップ「どうぶつえんをつくらう！」が行われました。

当日は約30人の親子が参加し、高畠先生と一緒に動物の絵を描いて、それを切り取り自分だけの動物園を作りました。参加者は高畠先生のアドバイスに耳を傾けながら、真剣に絵を描いていました。

また、ワークショップでは、高畠先生による絵本の読み聞かせも行われ、充実した夏の思い出になりました。

ぎふ農業協同組合に 感謝状贈呈



7月13日、市役所公室でぎふ農業協同組合から13万4,920円の寄附があり、感謝状を贈呈しました。寄附金は6月19日にぎふ農業協同組合が開催した人形の供養祭で集まったものの一部で、常務理事の小野忠義さんは「社会福祉事業のために活用してほしい」と話しました。

市長は「供養された730体の人形たちの思いが込められた寄附を頂き大変ありがたい」と感謝を述べました。

加藤精工(株) 企業版ふるさと 納税での寄附に感謝状贈呈



7月7日、市役所公室で加藤精工(株)から市に対して、企業版ふるさと納税として410万円の寄附があり、感謝状を贈呈しました。

市が企業版ふるさと納税での寄附を受けたのは初めてです。今回の寄附は、大桑城の遺跡発掘調査事業に活用し、同社と共に大桑城跡の価値と魅力を市内外に発信していきます。

市長は「大桑城に近い企業さまから多額の寄附を頂き大変うれしく思います」と感謝を述べました。

将来を担う私たちの主張 山県市少年の主張大会



6月19日、花咲きホールで山県市少年の主張大会が行われました。10〜11ページに優秀賞を受賞した2人の作品を掲載しています。

市大会の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【優秀賞】野々村優菜(美山中③)、安藤里枝(伊自良中③)

【奨励賞】大野啓一朗(高富中①)、早矢仕弥央(美山中①)、鳥澤友結(伊自良中①)、福永栞理(高富中②)、江川千和(美山中②)、上野桃佳(伊自良中②)、長野礼奈(高富中③)

第36回日本クラブユースサッカー 選手権(U-15)大会出場報告



7月26日、第36回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に出場する林恵多さん(美山中③)と古田峻也さん(高富中③)が、出場報告のため市長を表敬訪問しました。

2人が所属するFC岐阜U-15は、岐阜県大会で優勝、その後の東海大会で6位という成績を収められ、見事全国大会への切符を手に入れました。

選手の2人は「全国大会で何もできないではなく、日々の練習の成果を発揮したい」「一つ一つ全力で頑張りたい」と意気込みを語りました。

全国でつながる 竹あかり「燈す」開催



7月22日、長滝地区の甘南美寺で竹灯籠にかりをつけるイベント「燈す」が行われました。

このイベントは今年で6回目を迎え、オリンピックの開催にあわせ全国47カ所で一斉に竹あかりをともし「みんなの想火」も兼ねての開催となりました。

境内に並べられた約2,000基の竹灯籠には、参加者の手であかりがともされ、辺りは柔らかな光に包まれました。多くの来場者は幻想的な光景をカメラに収めていました。

子ども夏まつり'21 小中学生がお抹茶と箏を体験



7月18日、古田紹欽記念館で子ども夏まつりが開催され、小中学生16人がお抹茶と箏を体験しました。

お抹茶体験では、抹茶の飲み方や和菓子の食べ方といった作法を学びながら、自分でたてた抹茶を味わい優雅なひとときを過ごしました。箏体験ではかえるの合唱を練習しました。最初は思うように指が動かず音を出すのも難しそうでしたが、体験後には一曲弾き切りました。

子どもたちは貴重な体験ができ、日本の伝統文化に触れる良い機会となりました。